

令和2年度使用小学校用教科書

# 選 定 資 料

音 楽 編

令 和 元 年 6 月

愛 知 県 教 育 委 員 会

**○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること**

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造等との関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

**○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること**

「自ら高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現  
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

## 教科書選定の観点・着眼点（音楽）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとりた学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容	(1) 内容の選択 ア 教科の目標並びに学年の目標を達成するのに適切であるか。 イ 我が国や郷土の伝統や文化、児童の生活経験を踏まえて、興味・関心を高めるような配慮がなされているか。 ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と、弾力的な運用・補充的な学習や発展的な学習についての配慮がなされているか。
	(2) 内容の程度 ア 学年の発達段階や興味に照らして適切であるか。 イ 音楽活動の基礎的な能力を身に付けるのに適切な選曲・編曲であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。
	(3) 内容の構成 ア 内容が発展的・系統的に組み立てられているか。 イ 教材の配列や補充的な学習、発展的な学習の分量及び領域間の関連は適切であるか。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	ア 楽譜や本文との適切な関連付けがなされたイラストや写真等が使われているか。 イ 内容が分かりやすく利用しやすいように配慮されているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度・文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとった学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア [共通事項] の習得を中心に、基礎的・基本的な内容の焦点化を図り、習得した知識・技能を活用して幅広い音楽活動ができるよう編集されている。 ア 学習の流れを分かりやすく示し、思いや意図をもって表現したり聴いたりする中で、豊かな感性を育みながら学びが定着するよう配慮されている。
27 教 芸	ア [共通事項] の習得を中心に、基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着を図り、深まりのある音楽活動ができるよう編集されている。 ア 学習の目標を明確に示し、見通しをもって学習の積み重ねができるようにし、児童の主体性や創造性を育むことができるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 日本の音楽に関する教材や写真等の資料を豊富に取り上げ、歌い継いでいきたい日本の歌を継承しようとする心を育めるよう工夫されている。 ア 世界の音楽が取り上げられ、世界の文化との関わりに対する理解・関心を高め、他国の文化を尊重する態度を育むように配慮されている。
27 教 芸	ア 日本の音楽に関する教材や資料を豊富に取り上げ、演奏家のメッセージから、日本の音楽文化を継承しようとする心を育めるよう工夫されている。 ア 道徳教育や人権教育との関連性を意識した曲を取り上げ、音楽活動を通して、心豊かな児童の育成に結び付けられるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
3 内容 (1) 内容の選択	<p>ア 教科の目標並びに学年の目標を達成するのに適切であるか。</p> <p>イ 我が国や郷土の伝統や文化、児童の生活経験を踏まえて、興味・関心を高めるような配慮がなされているか。</p> <p>ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と、弾力的な運用・補充的な学習や発展的な学習についての配慮がなされているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 題材ごとのねらいが明確に示され、系統的に学びを高められるように、低・中・高のまとまりに応じた学習内容が適切に配置されている。</p> <p>イ 日本の伝統音楽をはじめ、わらべうたや民謡等が取り上げられ、伝統と文化の尊重や郷土を愛する心を育むことができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 振り返りの学習を通して基礎・基本の定着を図るとともに、既習の学習内容を生かした発展的な内容も取り上げられるよう配慮されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 題材ごとのねらいが明確に示され、系統的に学びを高められるように、低・中・高の音楽科の目標に即した学習内容が適切に配置されている。</p> <p>イ 日本の伝統音楽をはじめ、わらべうたや地域に伝わる伝統芸能等が取り上げられ、鑑賞と体験を通して親しむことができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 基礎的な能力の定着を図るために振り返りのページが用意されているとともに、考える観点を示すことで発展的な学びにつながるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (2) 内容の程度	ア 学年の発達段階や興味に照らして適切であるか。 イ 音楽活動の基礎的な能力を身に付けるのに適切な選曲・編曲であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 児童の発達段階に応じて具体的な活動が豊富に示され、興味・関心をもって主体的に活動できるよう配慮されている。 イ 目標に即した表現教材・鑑賞教材が様々な年代やジャンルから選曲されており、楽しみながら基礎的な能力を身に付けられるよう工夫されている。 ウ 児童の発達段階に即した表現・鑑賞活動が取り入れられ、前学年で学んだことを生かして活動に取り組むことができるよう配慮されている。
27 教 芸	ア 児童の発達段階に応じて音楽づくりの活動を多く取り入れ、興味・関心をもって創造的に活動できるよう工夫されている。 イ 音域が適切な歌唱教材や、音楽の構成や曲想が明確な鑑賞教材が選曲されており、基礎的な能力を身に付けることができるよう配慮されている。 ウ 積み重ねの学習によって児童が主体的に取り組むことができるように、実態に合わせて選択し、深まりのある学習ができるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
3 内容 (3) 内容の構成	ア 内容が発展的・系統的に組み立てられているか。 イ 教材の配列や補充的な学習、発展的な学習の分量及び領域間の関連は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 発達段階に適した教材が系統的に取り扱われ、学びを振り返りながら学習を進める中で、音楽的な資質・能力を育むことができるよう考慮されている。 イ 主要部分と選択部分の教材を組み合わせることができ、柔軟に活動ができる分量である。領域間の関連が〔共通事項〕で結ばれており適切である。
27 教 芸	ア 発達段階に適した題材が系統的に配列されており、児童の思いや意図を表現するために必要な技能を段階的に習得できるよう考慮されている。 イ 児童の実態に合わせて学習内容の分量を増減できるような配慮があり、適切である。領域間の関連が〔共通事項〕で結ばれており適切である。

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び 使用上の便宜等	ア 楽譜や本文との適切な関連付けがなされたイラストや写真 等が使われているか。 イ 内容が分かりやすく利用しやすいように配慮されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 大きく掲載されたイラストや折り込みページに迫力のある写真が掲載され、児童が活動の仕方や曲のイメージを捉えやすくなるよう配慮されている。 イ 技能的な留意点が掲載されていたり、巻末に〔共通事項〕やリコーダーの運指等がまとめられていたりし、学習活動の支援となるよう配慮されている。
27 教 芸	ア 日本や世界の音楽等、直接目にすることが難しいものの写真が掲載されており、それらの文化に対する気付きを促すことができるよう配慮されている。 イ 巻末の「「ふり返りのページ」には〔共通事項〕やリコーダーの運指等がまとめられており、児童が学びを振り返ることができるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	<p>ア 印刷の鮮明度・文字の大きさ、色彩等は適切であるか。</p> <p>イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。</p> <p>ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 印刷は鮮明で、文字の大きさも適切である。注目させたい言葉の文字の色を変えるなど、児童が主体的に活動しやすくなっている。</p> <p>イ ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザイン、改行の工夫などにより、どの児童にも見やすいよう配慮されている。</p> <p>ウ 造本は丈夫で長期使用に耐えられ、サイズは発達段階に合わせて3年生以上は全判より上下を長くし、1～2年生は全判で軽量化されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 印刷は鮮明で、文字の大きさも適切である。白を基調としたデザインや優しい色使いのイラストで、内容を捉えやすくなっている。</p> <p>イ 色覚特性に配慮した見やすい配色や、歌詞と写真を分離して掲載するなど、必要な情報に注目できるようどの児童にも見やすいよう配慮されている。</p> <p>ウ サイズは全学年全判であり、丈夫で長期使用に耐えられる造本になっており、裏表紙には音楽科の学習への興味を引く写真資料が掲載されている。</p>

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
17 教出	教育出版株式会社	小学音楽 おんがくのおくりもの 1 小学音楽 音楽のおくりもの 2、3、4、5、6
27 教芸	株式会社教育芸術社	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2、3、4、5、6